

1：女性をイカせる魔法薬を発明したら暗殺者に襲われた

//フリーデ：

あーあ、目覚めちゃった

こんばんは。お前に恨みはないけど、死んでもらうね

//フリーデ：

ん？それ、例の女性をイカせる魔法薬か？

何を……きゃっ

//フリーデ：

な、何だこれは

ああ、あそこが疼く！

//フリーデ：

何逃げようとしてんだ？

//フリーデ：

今アタシ、このチンポが欲しくて仕方ないの

//フリーデ：

ちゅっ♡ちゅちゅっ♡ じゅぽっ♡ぎゅぽっ♡じゅるるっ♡じゅぽぽっ♡

ほら、すぐ大きくなるじゃないか♪

//フリーデ：

すんすん、男臭いニオイたまんない

もう我慢できないから、入れちゃうね

アタシの発情が収まったら、ゆっくり殺してあげる♡

ほら、大人しくチンポちょうだい！

2：魔法薬のせいで淫乱暗殺者とお硬い処女騎士団長とエッチしちゃった♪

//フリーデ：

このまま騎乗位で

んん！

//フリーデ：

ああ、きたあ♪

薬のせいか、いつもよりおまんこが敏感♡

これ入れただけでイッちゃいそ

//フリーデ：

偶然にしてもバカな薬発明したものね

こんなもの作らなければ誰もあんたのことなんて邪魔に思わなかったのに

//フリーデ：

あんっ♡あっ、んっ、あっ、あッ♡

//フリーデ：

何よその情けない顔？

殺さないで下さいって？

//フリーデ：

死にたくなかったら少しでも長く我慢して、アタシを楽しませてよ

//フリーデ：

あふっ♡あっ、あっ、んんっ♡

//フリーデ：

でも何百本もくっさいオスチンポ咥えてきたアタシの極上おまんこ  
お前ごときに我慢できるかしら？ あは♡

//フリーデ：

はうッ♡あッ♡あっ、あっ、あッ♡

//フリーデ：

ほら、もっと情けない声聞かせてよ

//フリーデ：

ひぐっ♡っ、あゝッ♡はっ、はっ、あふ

//フリーデ：

助けを求めたって無駄よ  
入口の見張りは既にあの世だから♪

//フリーデ：

んゝ ひっ♡おゝっ♡おゝ おっ♡

//フリーデ：

いくら王宮がお前を保護しようとアタシにかかれば護衛の一人や二人、瞬殺だから

//フリーデ：

あゝっ、あゝっ、あゝ あっ♡

//フリーデ：

ああ、この恐怖に怯えながら感じてる男のチンポって、ほんと最高♪

//フリーデ：

あゝっ♡あゝッ♡んおゝっ、ひッ♡

//フリーデ：

いいわ～

もっと怖がって

おちんぽ勃起させて！

//フリーデ：

はぐっ、お、お、おっ♡ほっ、あゝっ♡

//フリーデ：

アタシのおまんこ汁とまんないよお

//フリーデ：

ふっ、はひっ♡あゝ、あゝ あゝ ッ♡

//フリーデ：

人を殺すのってセックスと同じくらい興奮するの

//フリーデ：

あっあっあっ、あっ、あうう

//フリーデ：

もう腰とまんない

//フリーデ：

ん”っ、んん”っ、ああっ♡ん”ー♡

//フリーデ：

限界なの？

出しちゃう？

//フリーデ：

中出しした瞬間に、このナイフで首切っちゃうからあ♡

//フリーデ：

ほらあ、もっと我慢して♪

//フリーデ：

あ”っ、あ”ああ”ああ”ああ♡

//フリーデ：

ああ駄目駄目駄目駄目

薬の力なの？

アタシ、こんな雑魚チンポでイッちゃいそう

//フリーデ：

あ、きもちい♡きもちいいよおっ♡

//フリーデ：

これ無理♡ 無理無理無理い

//フリーデ：

んあ♡ひいッ♡あうっ

//フリーデ：

いいよ。このまま出して

アタシに殺されなさい！

//フリーデ：

んん、はあ、はあ、あ、ああ、お”お”お”お”っ♡

//フリーデ：

もう来る、くるくるくるくる

//フリーデ：

あ、あ、あ、ああああっ

//フリーデ：

ちょっと！ いいところだったのに！

//アンネリーゼ：

大丈夫ですか！？

あなたはフリーデ！

なぜここにいるのです？！

//フリーデ：

なぜって、見て分からない？

この運の悪い男を殺しにきたの

//アンネリーゼ：

させません！

騎士団長様にもこの薬、効くのかしらね？

ほーら



//アンネリーゼ：

フリーデ、これは何なの？

//フリーデ：

何って、魔法薬よ

すっごく気持ちよくなるやつ♪

//アンネリーゼ：

ああ、体が熱い！

こんな疼き、感じたことはありません

//フリーデ：

あはは！

お硬いことで有名な騎士団長様が発情してエロい顔してるわ

今のうちにさっきの続きを

//アンネリーゼ：

わ、私の使命は、あなたを守る、ことです

こんな薬なんかに！

ふん！

//フリーデ：

きゃ！

//アンネリーゼ：

さ、さあ

今のうちに逃げ……

//アンネリーゼ：

ど、どうして私はあなたのペニスを、握っているのでしょうか

//アンネリーゼ：

だ、駄目です

これを入れたくて仕方がないみたい

す、すみません

もう、我慢、できなっ

あああ！

//アンネリーゼ：

あなたのおちんぼ、入れてしまいました

//アンネリーゼ：

んっ、くっ、ふう、あっ

//アンネリーゼ：

ああ、勝手に腰が

でも、気持ちよくて、やめらんないっ

//アンネリーゼ：

んあっ♡あっ、あっ、あッ♡はうっ

//アンネリーゼ：

セックスなんてしたことないのに

こんな、騎士道に反するはしたない行為を

//アンネリーゼ：

んひあっ、はっ、あっ、あっ、あっ♡

//アンネリーゼ：

ら、らめらぁ

快樂に、負けてしまいますう

//アンネリーゼ：

お、お、おっ♡ほっ、あゝっ♡ああゝあゝっ♡

//アンネリーゼ：

知らなかっただけなの

セックスがこんなに……こんなに気持ちよかったなんて！

//アンネリーゼ：

ああ、ああゝあゝっ――

//アンネリーゼ：

ごめんなさい！

もう私、自分を止められません！

//アンネリーゼ：

あゝ、あゝ あゝ ッ♡んあっ♡

//アンネリーゼ：

自分からこんなこと言うのはしたないですけど

抑えられないんです！

//アンネリーゼ：

ん”、ふう、あ”、あ”っ、あっ”♡

//アンネリーゼ：

体が熱くて熱くて、あなたのおちんぽが欲しくて仕方ないんです！

//アンネリーゼ：

あゝ ♪♡あゝ ♪♡あゝ ♪♡おゝ ♪おゝ ♪おゝ おゝ ♪

//アンネリーゼ：

下品な声でごめんなさい！

でも、でもでも、ぎもちいいiiiiii！

//アンネリーゼ：

ん、んほ、おほお、おゝ、おゝ、おゝ、ほお

//アンネリーゼ：

はい！ 出して下さい！

私の中に全部！

//アンネリーゼ：

う、あ”、あ”、あっ♡

//アンネリーゼ：

私も、なんか、きちゃいます

//アンネリーゼ：

ま、あ”、あ”っあっあ”っああ”ッ♡

//アンネリーゼ：

あ、あ、あああああ！

//アンネリーゼ：

あゝっ

//アンネリーゼ：

奥まで、いっぱい、入ってきました

//アンネリーゼ：

でもまだ私のおまんこ、痙攣続いちゃってる

//アンネリーゼ：

このままもう一回、いいですか？

3： 魔法薬で仲良くイキまくるエッチ三昧生活♪

//アンネリーゼ：

んう、おっ っ、おっ♡お”っ♡

//アンネリーゼ：

魔法薬の効果終わらなくてずっと気持ちいいれすう

//フリーデ：

んうあ、あ”っ、はふ、うんっ

//フリーデ：

この魔法薬、ほんとどうしてくれようか

//アンネリーゼ：

指だけじゃ全然足りません！

早く、早くおちんぽを！

//フリーデ：

何を言ってる！

こいつのちんぽはアタシのモノだぞ！

ねえ早くう♡

//アンネリーゼ：

お”っお”っお”っお”っんん”っ

//アンネリーゼ：

あ、きちゃう。お潮きちゃいますう

//フリーデ：

はあ、あ”、あ”あ”あ”あ”

//フリーデ：

アタシも、たまんないっ

//アンネリーゼ：

ああああああ！

//フリーデ：

ああああああ！

//アンネリーゼ：

私の方が早くお潮を吹きましたよ？

だから、後ろからあなたのおちんぽ突っ込んで下さい



//フリーデ：

アタシのが早かっただろ？

お前のチンポ、バックから突っ込んでよ！

//アンネリーゼ：

ねえ！ どっちとするの！？

//フリーデ：

ねえ！ どっちとするの！？